

●ご使用前に必ず「取扱説明書」、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになった後は、「取扱説明書」、「安全上のご注意」を合わせて、必要なときにすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

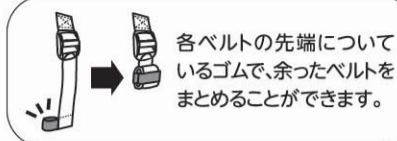
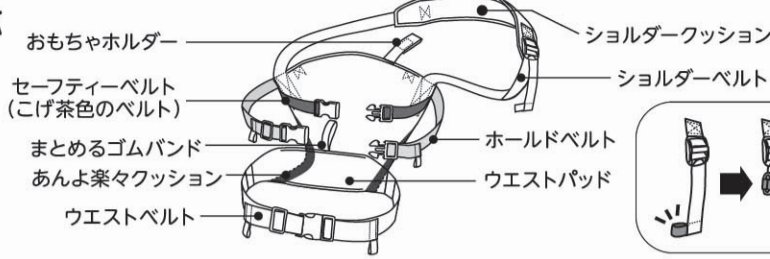
保存版

大切に保管
してください。

201811

生産物賠償責任保険付
実用新案登録済

●各部の名称



装着動画やよくある質問は公式ホームページをご覧ください。



●使い方

●常にお子様の様子に気を配り、危険のないようにしてください。また、周りの方の迷惑にならないようにご配慮ください。
●開口部からお子様は落下する恐れがありますので、使用中は走ったり、前かがみになる等、無理な姿勢は絶対に対処しないでください。かがむ際には腰を折らず、膝を曲げてお子様の頭が下向きにならないようにしてください。
●ストープなどの危険物の付近では絶対に使用しないでください。やけどや事故の原因になります。

1way	サイド密着抱っこ	2way	おひざ抱っこ	3way	対面抱っこ	4way	前向き抱っこ	5way	チェアベルト
<p>お子様が前を向いた状態で、保護者の両腕よりも背中側にくるように、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。 △お子様が保護者の方を向いた状態で使用しないでください。また、お子様が寝ている時には使用しないでください。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、保護者の膝の上に座らせ、Bebe Pocket を付けます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、保護者の腕の上に座らせ、Bebe Pocket を付けます。</p>	<p>お子様が保護者の方を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>お子様が前を向いた状態で、Bebe Pocket を付けます。 立ち上がって移動することもできます。</p>	<p>△背もたれの付いていないイスは使用しないでください。背もたれ付きであっても、イスの形状によってしっかりと固定できない場合は使用しないでください。</p>

●保護者への装着方法

●開口部からお子様は落下する恐れがありますので、必ず安全な場所に座った状態(低い姿勢)で行ってください。人に介添えていただいた方がより安全です。
●お子様は、太ももが露出した洋服を避けてご使用ください。太ももと生地がこすれて痛みが生じることがあります。

1 まとめるゴムバンドが上に出るように。

内側(柄の無い面)を表にして、本体をひざの上に広げ、まとめるゴムバンドが上に出るように、ウエストベルトを腰骨のすぐ上で留め、ベルトを締めます。

2 本体をまたぐようにお子様を座らせます。
※向かい合うように座らせると、対面抱っこができます。
※あんよ楽々クッション(股端部分)が内側へ入り込まないようにご注意ください。

3 ショルダーベルトを保護者の首にかけ、お子様の腕は外側に出るようにします。
※ベルトをゆるめてからかけると、かけやすいです。

4 お子様の胸まで本体で包み込むように、しっかりと引き上げてください。
△引き上げがたりないと、落下の危険があります。

5 セーフティーベルト(こげ茶色のベルト)をお子様の背中(対面抱っこの場合はお腹)で留め、たるみの出ないようにベルトをしっかりと締めます。

6 ホールドベルト(黒色のベルト)を保護者の背中留めます。

7 お子様の背中(対面抱っこの場合はお腹)が保護者に密着するように、ホールドベルトをしっかりと締めてください。
△ベルトがゆるいと落下の危険があります。

8 ショルダーベルトに保護者のどちらから一方の腕を通します。

9 おひざ抱っこ 前向き抱っこ 対面抱っこの場合

おひざ抱っこ 前向き抱っこ 対面抱っこの場合

9 お子様のお尻が保護者の腰骨に乗る位置に、本体ごと回転させ、お子様の手前に腕を出します。

10 お子様がお尻が腰骨に乗る位置に、ショルダーベルトを調節します。
※この状態から立ち上がることもできます。

△必ず確認

OK	NG
<p>④参照 お子様の胸まで本体で包み込まれていますか? NO 各ベルトを引っぱり、本体を胸までしっかりと引き上げてください。</p>	<p>⑦参照 お子様の体は保護者に密着していますか? NO ホールドベルト・ショルダーベルトの長さを調節してください。</p>
<p>⑩参照 お子様のお尻が保護者の腰骨に乗っていますか? NO ショルダーベルトの長さを調節してください。</p>	<p>△ベルトがゆるんでいるとお子様は前後左右に動いてしまい、落下の危険があります。また、肩が痛くなる等、保護者の方への負担も生じます。</p>

抱き方のコツ

1 腰骨にお子様のお尻が乗るよう、ショルダーベルトを引っぱって!!

ゆるいと... 「上半身が不安定で落ちそうになる!」「肩だけに負担がかかり、肩に食い込んで痛い!」etc. の状況になります。
※きつくするとお子様がいやがる場合は、まず「おひざ抱っこ」で慣れてからお使いください。サイドに抱いたり、立ち歩く際は必ず、密着するよう引っぱった状態でお使いください。

安定♥肩がラク

2 密着するよう本体をしっかり引き上げて!!

ゆるいと... 「密着感がなく不安で子が嫌がる!」「上半身が不安定で落ちそうになる!」etc. の状況になります。
※本体を引き上げてもゆるんでいる場合は、保護者側の各ベルトがゆるんでいることが原因です。各ベルトをしっかりと引っぱり、密着した状態でお使いください。

安定♥赤ちゃんごきげん

●イスへの装着方法

●まだ一人で座ることのできないお子様には、使用しないでください。
●転落や転倒によるケガの原因となりますので、不安定な状態で、お子様を座らせたり、乗せたまま持ち上げて移動しないでください。



●たたみ方

